

## 提 案 内 容 （ 概 要 ）

団体名	主たる提案者	まちなか石ころ研究会 代表 古谷 裕
	共同提案者	
提案施設	三田市立弥生小学校 余裕教室	
提案施設所在地	三田市弥生が丘 2 - 20	
事業名称	石ころ研究室プロジェクト	
事業実施期間	2021 年 5 月～2024 年 3 月	
事業の目的・目標	<p>本事業は、身近な環境にある石ころや化石などに目を向け、それらがどこでどのようにしてでき、なぜ現在の場所にあるのかを考える地学教育プログラムを提供し、小中学校における理科教育や地域における親子または子どもたち自身による学びの支援を行うことを目的とする。そして、プログラムの実践を通じて、身の回りの自然が遠い昔からのさまざまな営みの中で作り上げられてきたことを理解し、人びと、特に子どもたちの‘自然史リテラシー’を育むことを目標とする。</p> <p>また、上記の学習プロセスにおいて、地域の高齢者等も巻き込み、多世代が交流できるしくみの構築もめざす。</p>	
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地学教育、とくに地質・古生物分野の教材・学習プログラム開発</li> <li>2) こうみん未来塾へのプログラム提供</li> <li>3) 理科教師向けの相談室（オフィスアワーを設定、例えば、木曜日 15:00～18:00 など）</li> <li>4) 放課後子ども教室への協力</li> <li>5) 小中学校や自治会等からの要望により、出前授業、研修会、ワークショップなどを実施</li> <li>6) 小学生などへの地学教育支援、学校教員への理科教育相談の実施など</li> </ol> <p>上記事業の実施に当たり、人と自然の博物館との連携も想定されるため、博物館に最も近い学校施設である弥生小学校が最適な場所であり、連携による事業効果も高まるものと考えます。また、今後「弥生まちづくり協議会」と協議し、多世代が交流できる連携事業を展開する上でも、多世代交流館の近い弥生小学校は最適な場所である。</p>	
事業の効果	<p>三田市の子どもの科学（とくに地学）に対する探究心を刺激し、より深みのある自然観を獲得できるためのサポート体制をつくることができる。自分たちが住む土地の成り立ちを知ること、防災教育の一助にもなる。また、高齢者と子どもが交流する機会をもつことにより、三田市における多世代交流教育の「自律的好循環」の SDGs モデルとなることが期待される。</p>	